



ソメイヨシノとメジロ

霞城公園の桜ガイド



東大手門とソメイヨシノ

- ソメイヨシノ以外の桜を記しました。通な桜を楽しむためのガイドとしてご利用ください。ソメイヨシノよりもタカトオコヒガンザクラは開花が少し早く、それ以外は1~2週間後の開花が多いです。
- 種名や品種名は山形市および霞城観桜会の木札表示に準じ、それ以外は私個人の同定・識別で記載しています。

1 ベニシダレザクラ



エドヒガンの栽培品種。シダレザクラのうち紅色になるもの。当ページは八重咲きも含める。

2 ギョイコウ



位置 X34,Y23 サトザクラの栽培品種。緑の花弁をもつ。江戸時代から栽培記録がある。

3 タカトオコヒガンザクラ



位置 X38,Y24 エドヒガンとキンキマメザクラの雑種。ソメイヨシノより開花が早い。

4 ウコン



位置 X29,Y25 栽培品種。花弁は薄い緑色。ギョイコウとは枝代わりの近い関係にある。

5 オオシマザクラ



関東南部原産の野生種。大きな花を付ける。葉も花も香りがあり桜餅に利用される。

6 カンザン



栽培品種。明治時代の頃、荒川堤から全国に広まった。

7 ヤマガタカレン



位置 X5,Y10 石井重久氏が作った栽培品種。命名者は元山形市長の市川昭男氏。

8 エドヒガン



野生種。寿命が長くX3,Y32の巨木は山形城築城1357年からあると言われている。

9 ウワミズザクラ



位置 X8,Y45 野生種。花が集まる総状花序という咲き方をする。開花は4月末~5月上旬。

10 サトザクラ



サトザクラは固有の品種名ではなく改良品種の総称。品種名が特定できないときに使われる呼び名。

A ジオンジチゴザクラ



慈恩寺権児桜。寒河江市の天然記念物。原木は不明だが香川県発祥のキナシチゴザクラに似る。

B シダレザクラ



位置 X33,Y23 エドヒガンの栽培品種。枝が垂れ下がる。花弁は淡い桃色になる。

C ジュウガツザクラ



位置 X36,Y12 マメザクラとエドヒガンの交配品種、または春と秋に咲く桜の総称。

D モニワザクラ



位置 X8,Y13 チョウジザクラとソメイヨシノの交雑。花弁が白から淡紅色へ変化する。

E センダイシダレ



位置 X7,Y14 品種名はシダレヤマザクラとも言われる。サトザクラ系栽培品種。

F オオヤマザクラ



野生種。薄桃色の大きな花弁をつけ、葉も同時に出る。開花はソメイヨシノと同時期。

G ヤマザクラ



野生種。花弁はほぼ白色。ソメイヨシノより2週間ほど開花が遅い。

H ニシナザオウ



位置 X5,Y13 理研と石井農場が、ギョイコウを元に作り出した品種。

J シュンゲツカ



位置 X6,Y13 敬翁桜の改良品種。薄いピンクの八重咲きが美しい。

K イチヨウ



サクザクラの栽培品種。薄桃色の花弁をつける。



参考資料
 学研出版 勝木俊夫著 日本の桜
 文一総合出版 大原隆明著 サクラハンドブック

2017.4.24
 写真・文 石川誠
 公開Web「山形県の生き物たち」